

## 「進めよう！介護事業所の地域拠点活動」 ～介護が地域づくりをリードする～



**吉井 靖子 氏**

高齢者総合ケアセンターこぶし園 総合施設長

### 【プロフィール】

新潟県出身  
昭和58年 特別養護老人ホームこぶし園に看護師として勤務  
平成9年 こぶし訪問看護ステーション 設立  
平成13年 高齢者総合ケアセンターこぶし園 業務・看護部長就任  
平成27年 高齢者総合ケアセンターこぶし園 総合施設長就任

### ＜参加者の方へのメッセージ＞

いつまでも住み慣れた地域で暮らし続けるために、地域包括ケアシステムの構築に向け、共に頑張っていきましょう。

新潟県看護協会 理事、新潟県訪問看護ステーション協議会 理事  
災害福祉広域支援ネットワーク・サンダーバード 理事、福祉法人経営学会 理事

～介護事業所の地域拠点活動～  
(第6回地域密着ケア・地域包括ケア全国研修会)

社会福祉法人 長岡福祉協会  
高齢者総合ケアセンターこぶし園  
吉井 靖子

### 高齢者総合ケアセンターこぶし園

1982年 特別養護老人ホーム「こぶし園」(定員100人)  
\*地域性のない郊外にある4人部屋の施設

「特養は要介護者を抱える家族を介護から解放するサービスで、入居高齢者にとっては新たな課題を抱える。暮らしの場所としては不便、収容されている感じ」

↓

居宅介護支援サービスの追加 (1986年～2000年)  
①ショートステイ ②24時間365日型訪問介護  
③3食365日配食サービス(安否確認) ④24時間365日型訪問看護  
【課題】 郊外施設を拠点とした24時間365日型訪問介護・看護の効率が悪い

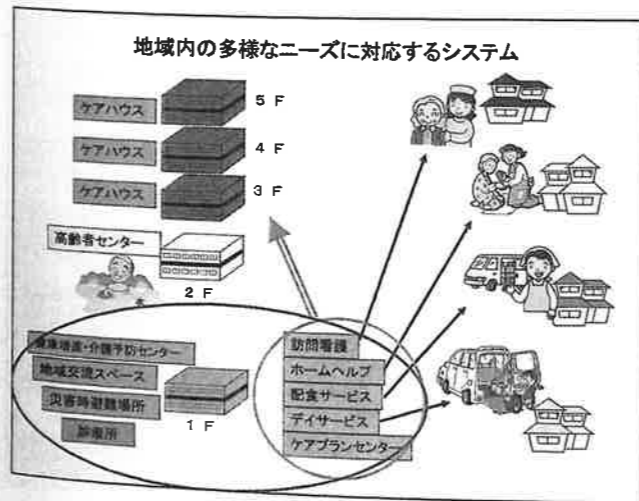
↓

拠点の地域分散化 (2002年～2013年)  
①サポートセンター (地域密着型居宅支援サービス拠点) 設置

### サポートセンター創設と拡大

- ・サポートセンター構想とは  
施設機能を地域社会へ分散し展開したもの  
施設機能(住宅機能・ケア機能・看護機能・食事機能)
- ・施設に入所しなくても施設と同じ様なサービスが自宅や地域で受けられる仕組み

(2002年に独自でモデルを創設、地域単位のニーズに応じた包括的サービス)



### 高齢者総合ケアセンターこぶし園

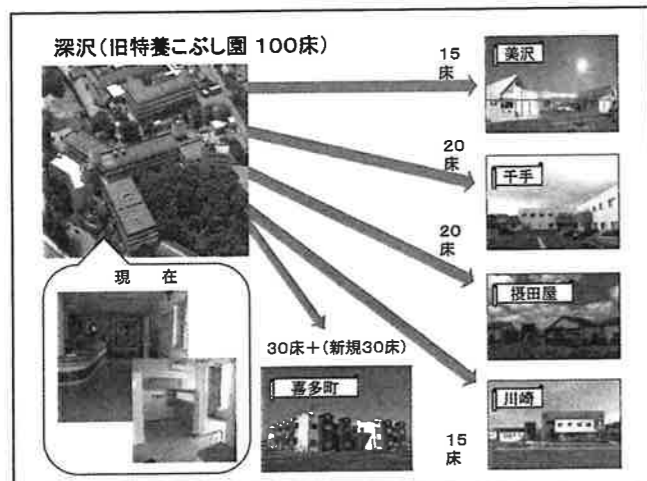
1982年：特別養護老人ホーム「こぶし園」開設  
\*100名定員・4人部屋の施設

↓

2006年：郊外型特養の入居者を地域密着型小規模特養に分散開始

↓

2014年：既存の特別養護老人ホームの小規模分散化が終了



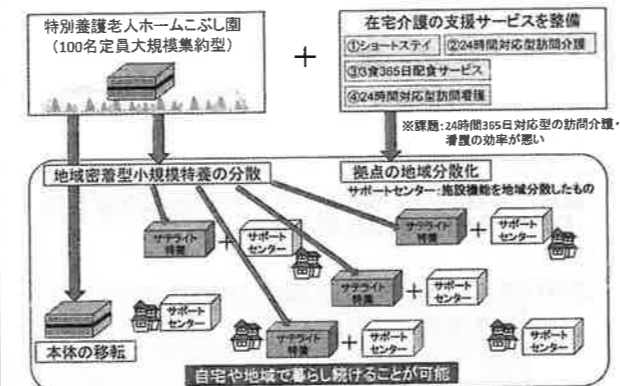
サポートセンター 摂田屋



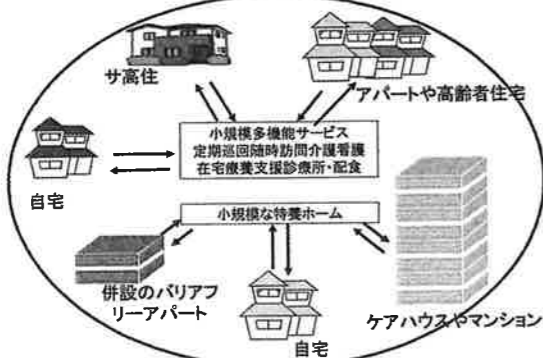
- ・地域密着型老人ホーム(20床)
- ・小規模多機能型居宅介護(登録25名、通い15名、泊り6名)
- ・グループホーム(9床)
- ・高齢者住宅・地域交流スペース・キッズルーム



高齢者総合ケアセンターこぶし園の概要



地域社会がひとつの施設  
介護付き住宅ではなく、介護付きの地域社会が可能  
(道路が廊下、自宅が居室)



あなたの介護を支えます  
社会福祉法人 長岡福祉協会  
高齢者総合ケアセンターこぶし園

地域における拠点的作用

- \* 地域から育てられ、地域を育ていく(地域福祉)
- 地域交流スペースの活用
- キッズルームの活用
- 地域行事への参加
- 事業所行事へのお誘い
- 地域ボランティア
- 広報誌の発信
- \* 地域の中の社会資源という意識
- \* 福祉施設イメージの転換(暮らしの場)

- 介護のフルタイムフルサービス
- + ICTの活用  
(在宅とスタッフを結ぶTV電話システム)  
(関係者を結ぶタブレット)
- + 在宅医療・救急医療・精神医療
- ↓
- 住み慣れた地域社会での  
安心した暮らしの実現

